

MRX7-D 主要規格	
プリセットメモリー数	50
サンプリング周波数	内部クロック 48kHz / 44.1kHz
シグナルディレイ	Less than 1.9ms (AD-DA @48kHz)
全高調波歪率	Less than 0.05% (+4dBu, Gain:-6dB), Less than 0.1% (+4dBu, Gain:+66dB)
周波数特性	20Hz to 20kHz, +0.5dB, -1.5dB
ダイナミックレンジ	107dB (Gain:-6dB)
ハム&ノイズレベル (20Hz to 20kHz, Rs=150d)	-60dBu (Gain: +66dB), -83dBu (Gain: -6dB)
ファンタム電源	+48V
クロストーク (@1kHz)	-100dB
電源電圧	AC100V・50Hz/60Hz
消費電力	65W
寸法・質量	480W x 88H x 366Dmm・6.5kg
付属品	16 pin mini Euroblock Plug x 2, 3 pin Euroblock Plug x16

全高調波歪率の測定は80kHz, 18dB/Octのフィルターを用いています。

アナログ入力規格

端子名称	ゲイン		ソースインピーダンス	規定レベル	最大ノックリプルレベル	使用コネクタ
	入力インピーダンス	ゲイン				
INPUT 1-8	+66dB -6dB	10kΩ	50-600Ω Mics & 600Ω Lines	-62dBu +10dBu	-42dBu +30dBu	Euroblock*
ST IN 1, 2			600Ω Lines	-10dBV	+10dBV	RCA Pin Jack**

ゲイン=ヘッドアンプの増幅率を示しています。

アナログ出力規格

端子名称	ソースインピーダンス	負荷インピーダンス	規定レベル	最大ノックリプルレベル	使用コネクタ
OUTPUT 1-8	75Ω	10kΩ Lines	+4dBu	+24dBu	Euroblock*

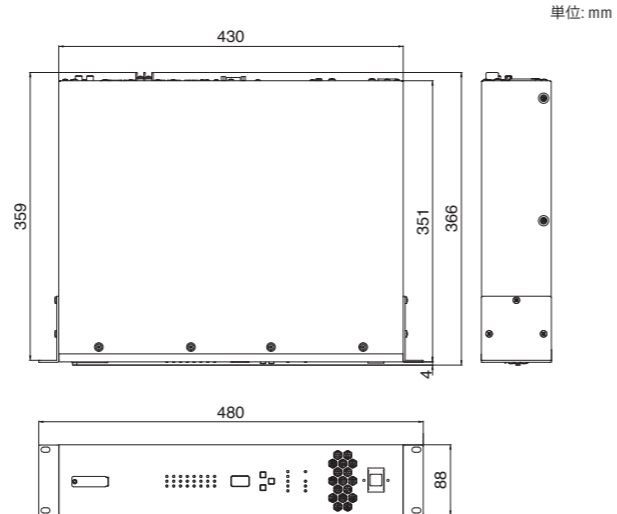
デジタル入出力規格

端子名称	フォーマット	レベル	IN / OUT	使用コネクタ
YDIF In	YDIF	RS-422	16 IN	RJ-45
YDIF Out	YDIF	RS-422	16 OUT	RJ-45
Primary / Secondary	Dante	1000BASE-T	64 IN / 64 OUT	RJ-45

コントロールI/O端子

端子	フォーマット	レベル	使用コネクタ
GPI	IN	0V-5V (IN 16は耐力24V)	Euroblock
	OUT	Open Collector	Euroblock
	+V	DC5V	Euroblock
Network	Ethernet 100BASE-TX	—	RJ-45
RS232C	—	RS-232C (BAUD RATE : 38.4kbps or 115.2kbps)	D-sub 9pin (Male)
DCP	—	—	RJ-45

寸法図



単位: mm



Danteネットワーク構築について

Dante対応機器の多くはギガビット帯域の伝送を想定しておりますので、必ずCAT5e以上のネットワークケーブルと、ギガビットイーサネットに準拠したネットワークスイッチをお使い下さい。より詳細な情報については下記「Danteネットワークの設計ガイド(ウェブサイト)」をご覧ください。

●Danteネットワークの設計ガイド

Danteネットワークの設計ガイドでは、ネットワークケーブルの選択やネットワークスイッチの最適な設定など、よりネットワークの設計範囲に踏み込んだ内容を詳しく掲載しています。



<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

●Dante関連のドキュメント

ヤマハプロオーディオサイトにはDanteに関する豊富なドキュメントを揃えております。以下のアドレスからダウンロードが可能です。



お客様お問い合わせ窓口

プロオーディオ・インフォメーションセンター

(電話受付=祝祭日を除く月~金/11:00~19:00)

TEL: **0570-050-808** (ナビダイヤル、全国共通番号)

※IP電話は03-5652-3618 発信者番号を通知する設定にしておかけください。

FAX: **03-5652-3634**

■オンラインサポート: <http://jp.yamaha.com/support/>

FAQ: <http://yamaha.custhelp.com/>

よくあるお問い合わせを商品別にまとめております。購入前の機能確認、購入後の問題解決などにご活用ください。

Facebookページ: ヤマハコマーシャルオーディオジャパン

<http://www.facebook.com/YamahaCommercialAudioJapan>

ヤマハプロオーディオに関する耳寄りな情報をタイムリーにお伝えしております。

株式会社ヤマハミュージックジャパン

PA営業部

東日本営業課 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX箱崎ビル1F TEL.03-5652-3850

西日本営業課 〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82 ユニバーサルシティ和華ビル8F TEL.06-6465-0308

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>

2015年6月作成 カタログコード LP589

●本カタログに掲載の商品名・社名等は、各社の商標または登録商標です。
●カタログに印刷された商品の色調は、実際の商品と多少異なる場合があります。



このカタログは無塩漂白紙(ESF)エコパルプを使用しています



Danteに対応し、フレキシブルにシステム構築できる オールインワンタイプのシグナルプロセッサ

SIGNAL PROCESSOR MRX7-D

オープンブライズ 2015年9月発売予定 **NEW**



- 64in/64outのDante入出力端子を搭載し、大規模なデジタルネットワークオーディオシステムにも対応。
- 規模や用途に応じたサウンドシステムデザインができるフリーコンフィグレーションタイプ。
- PCソフトウェア「MTX-MRX Editor」を用いて、規模や用途に応じてコンポーネントを自由に設定可能。(詳細はP7)
- 独自の「情報マスク音」で効果的なマスク音可能な「Speech Privacy」を搭載。
- 多数のマイクを使用する場面で活躍する「Dugan Automixer」搭載。
- 遠隔会議システムで不可欠なアコースティックエコーキャンセラーを搭載。*
- 入力は8系統のモノラルマイク/ライン、2系統のステレオラインを、出力は8系統のアナログモノラルを搭載。
- YDIF (詳細はP4) 経由で、インプットエクステンダー「EXi8」、アウトプットエクステンダー「EXo8」を用いて、入出力の拡張が可能。**
- Mini-YGDAIスロットを1基搭載し、様々なオーディオフォーマットにて最大16in/16outの拡張が可能。
- Dante、またはYDIFを用いてパワーアンプリファイアー「XMVシリーズ」へデジタル伝送可能。
- 再生用SDメモリーカードスロットを装備し、MP3/WAVの音声ファイルを再生可能。
- デジタルコントロールパネル「DCPシリーズ」により、複数ゾーンの音量制御、プリセット切替が可能。
CAT5eケーブルを用い、シンプルなデジチェーンにて配線、最大8台まで接続可能。(MRX7-Dから末端のDCPまで最長200m)
- RS232C、GPI端子を装備、AMX/Crestronをはじめとした、多彩な外部コントロールが可能。
- iPad用アプリケーション「ProVisionaire Touch」やスマートデバイス用アプリケーション「Wireless DCP」を使用し、施設の音響システムのコントロールが可能。

* V2.1以降のファームウェアで対応予定。
** YDIF対応機種は最大8台まで接続可能です。

Input Expander

EXi8 オープンブライズ



- 入力拡張用マイクプリアンプ付きADコンバーター
- 8chの入力をYDIF経由で伝送
- MRX7-Dからヘッドアンプコントロール可能

Output Expander

EXo8 オープンブライズ



- 出力拡張用DAコンバーター
- YDIF経由で入力し、8chを出力

Digital Control Panel

DCP1V4S-US オープンブライズ **DCP4S-US** オープンブライズ **DCP4V4S-US** オープンブライズ

- プログラム型、スイッチ×4、ノブ×1
- プログラム型、スイッチ×4
- プログラム型、スイッチ×4、ノブ×4

- 複数ゾーンの音量切り替え、プリセットの切り替えが可能なプログラム型コントローラー
- デジチェーン接続により1台のMRX7-Dに最大8台のDCPシリーズが接続可能(接続は最大でMRX7-Dから200m)
- 電源はMRX7-DよりEthernetケーブル経由で供給、自由度の高い配置が可能

MRX7-D Features

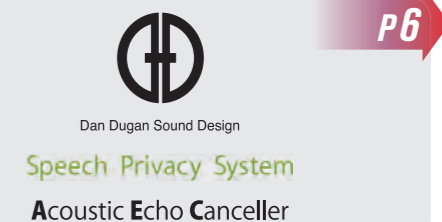
① オールインワンの利便性と拡張性を両立

MRX7-Dは本体に12in/8outのアナログ入出力と再生用のSDメモリーカードスロットを装備しています。さらに、ネットワークオーディオ規格Danteやヤマハ独自のデジタル伝送規格YDIF、Mini-YGDAIカードスロットを1基備え、最大108in/104outの大規模システムにも対応します。



② さまざまな用途に柔軟に対応する多彩なコンポーネント

MRX7-Dは使用するコンポーネントを自在に配置することで、自由にシステムデザインできるフリーコンフィグレーション方式を採用しました。さまざまな用途に柔軟に対応できるように、Dugan Automixerなど多彩なコンポーネントを用意しております。



③ MTX-MRX Editorによるシンプルかつスピーディな設定

MRX7-Dの設定は専用アプリケーションである「MTX-MRX Editor」を使用します。このアプリケーションにより、インプットエクステンダーEXi8/アウトプットエクステンダーEXo8や、パワーアンプリファイアーXMVシリーズの管理も可能であり、システムの入力から出力までスピーディに設定できます。



④ 豊富な外部制御が選択可能

MRX7-Dは豊富な外部制御端子を備えており、運用に応じた選択が可能です。オプション機器としてデジタルコントロールパネル「DCPシリーズ」、リモートアプリケーションの「ProVisionaire Touch」「Wireless DCP」を用意。また、GPIやRS232Cを使用することで、AMX、Crestronをはじめとした外部制御機器が使用できます。



① オールインワンの利便性と拡張性を両立



SDカードスロット
保存しているMP3/WAVファイルを再生可能。Schedulerの設定により、特定の時間に、音源を再生することも可能。

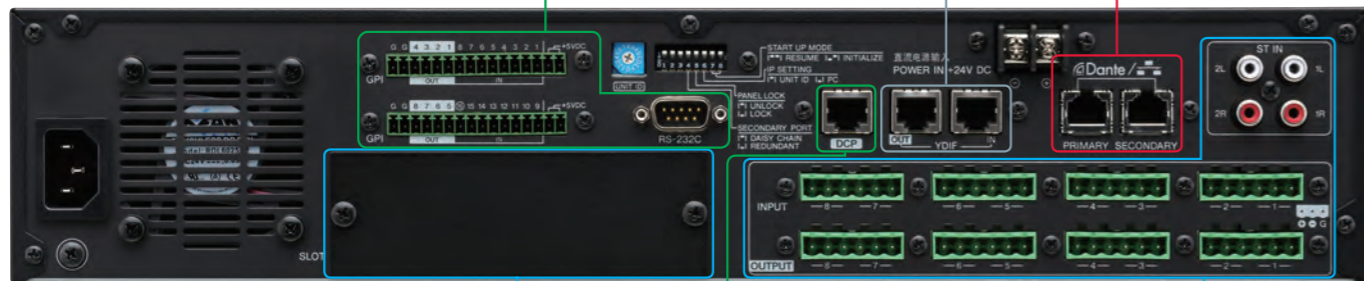


MRX7-Dフロントパネル

制御端子 (RS232C, GPI)
AMX、Crestronなどを接続可能。(詳しくはP9)

YDIF 16in/16outのYDIF入出力
兄弟機のMTXシリーズや、入出力エクパンダーEXi8、EXo8、パワーアンプファイアーXMVシリーズへの音声伝送が可能。

Dante 64in/64outのDante入出力
リダダンシーに対応する2つのポート (Primary/Secondary) を用意。ネットワークによる柔軟なシステムを構築できます。



MRX7-Dリアパネル



Mini-YGDAI カードスロット
最大16in/16outの拡張カードが使用可能。多彩なフォーマットでの音声入出力を可能にします。

リモートコントローラー「DCP」端子
リモートコントローラーである「DCP」シリーズが使用できます。MRX7-D1台につき最大8台のDCPの接続が可能です。

12in/8outのアナログ入出力
8マイク/ラインと2ステレオラインの入力と8出力を装備し、スタンドアローンでの運用も可能。

拡張性 ①



DanteはAudinate社(オーストラリア)が開発したネットワークオーディオプロトコルです。IPネットワークとギガビットイーサネットに準拠し、ネットワークスイッチとイーサネットケーブルを用いて、多チャンネルの非圧縮デジタルオーディオ信号を低レイテンシーで送受信できます。



●ネットワークならではの画期的なシステムソリューション

Danteは「ネットワーク」ならではの機能により従来のサウンドシステムから大きく飛躍した画期的なソリューションを提供します。最も画期的な点は、Dante対応機器間のオーディオルーティングなど機能面の接続が、物理的なケーブル接続とは完全に独立して設計できることです。ケーブルの本数に制約されずに全てのDante対応機器間で自由自在にオーディオ信号の入出力が行えるほか、任意の入出力ポイントをニーズに応じて追加できます。また、コンピュータを用いたコントロールやレコーディングのための信号のやりとりもオーディオデータと同じケーブル上で扱え、オーディオとコントロールを統合したネットワークの構築が可能です。

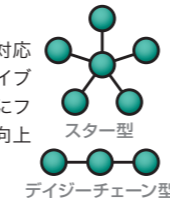
●高品位なデジタルオーディオを多チャンネル伝送

CAT5eイーサネットケーブルを用いて一つのギガビットリンク上で512x512(48kHz/24bit)のオーディオチャンネル、計1,024の双方向チャンネルを送受信できます。光ファイバーケーブルを使えば数キロメートルにわたる接続も可能です。さらに、Danteネットワーク上のオーディオ信号はデジタルなためアナログオーディオにみられる長距離伝送時の音質劣化も起こりません。



●フレキシブルな接続形態

スター型とデジチェーン型の2つのトポロジーに対応し、さらに各々を組み合わせることも可能なため、ライブサウンドや固定設備などさまざまなアプリケーションにフレキシブルに対応し、仕込み時間の短縮や施工性の向上に寄与します。



●将来性

Danteは標準的なネットワークプロトコルで構成されているため、ネットワーク機器の持つ機能をフル活用でき、性能の制限のない頑強かつ柔軟なオーディオネットワークを構築できます。さらに、新しい標準プロトコルである「AVB」と「AES67」に対応する仕組みを持ち、ネットワーク技術の進歩に対する柔軟な将来性を備えています。



拡張性 ②

YDIF

YDIFはヤマハが開発したデジタルオーディオ伝送の規格です。CAT5eのケーブルを用いて、16chの音声伝送が可能です。接続形態はリング接続で、極めてシンプルで使い勝手のよい規格となっています。中小規模設備物件では、ミキサーやプロセッサーからアンプまでの接続はアナログで行われるケースが多いのですが、MRX/MTXシリーズやXMVシリーズではYDIF端子により、CAT5eケーブルを数珠繋ぎしていくだけで、機器間の接続が容易に行えます。 ※XMVシリーズのDanteモデルはYDIFを搭載しておりません。

YDIFの仕様

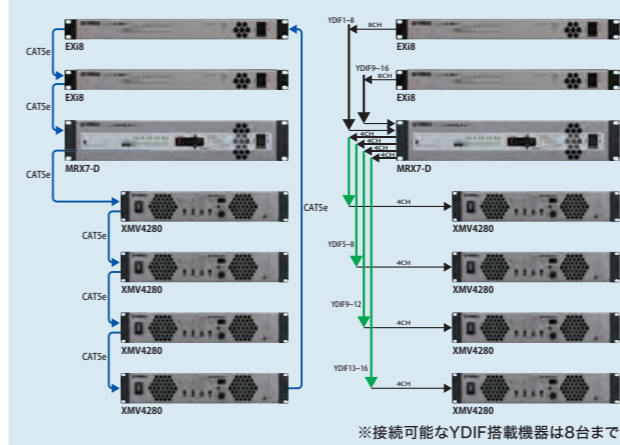
・チャンネル数	: 16ch
・サンプリング周波数	: 48/44.1kHz
・量子化ビット数	: 32bit
・ケーブル	: 8ピン全てがストレート結線されているCAT5e以上のSTPケーブル
・伝送距離	: 各機器間は最大30m
・接続可能台数	: ディストリビューションモードで8台、カスケードモードで4台 (MTXシリーズのみ)
・接続形態	: リング接続
・YDIF端子搭載モデル	: MRX7-D, MTX5-D, MTX3, XMV4280, XMV4140, XMV8280, XMV8140, EXi8, EXo8

YDIFでは用途の異なる2つのモードが用意されています

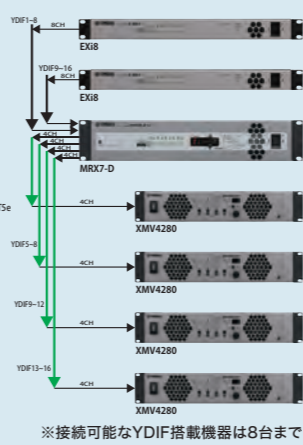
1. ディストリビューションモード

最大16chの音声を上流の機器から下流(次)の機器へと送し、各機器は任意の音声回線を送受信することが可能です。YDIFに対応する全ての機器が対応しており、アナログマルチケーブルのような感覚で使用できます。

<システム例>



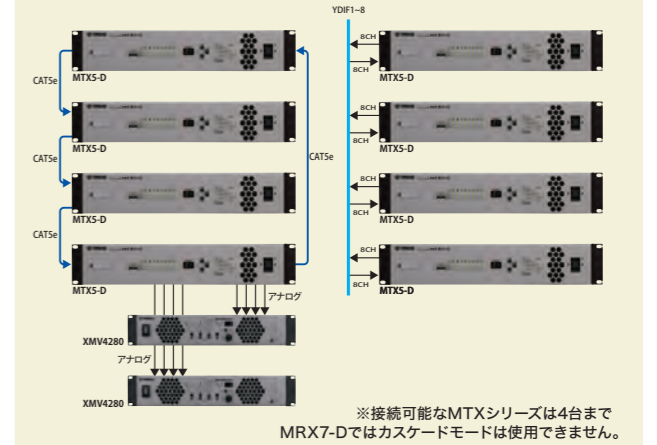
<音声の流れ>



2. カスケードモード (MTXシリーズのみ使用可能)

MTXシリーズ専用の8chカスケードバスとして機能します。上流・下流に関係なく、全ての機器間で自由に通信が行えますので、複数のMTXシリーズを使用した中規模システムにおいて力を発揮します。

<システム例>



※接続可能なMTXシリーズは4台まで
MRX7-Dではカスケードモードは使用できません。

拡張性 ③

Mini-YGDAI Card



30種類以上の豊富なラインナップを持つMini-YGDAIカードは、ヤマハデジタルミキサーやインターフェース、プロセッサー、パワーアンプと組み合わせることでI/Oや機能を拡張することができるツールです。アナログからデジタル、そしてネットワークオーディオに至るまであらゆるフォーマットに対応しており、様々なアプリケーションに適したシステムを最小限のコストでスマートに実現します。

プロセッシングカード



アナログカード

Analog Input Analog Output

デジタルカード

AES/EBU MADI SDI ADAT TDIF

ネットワークカード



② 顧客要望に柔軟に対応する多彩なコンポーネント

MRX7-Dは設備音響に求められる多数の機能をコンポーネントとして搭載しました。また、アプリケーションソフトウェア「MTX-MRX Editor」により、直感的なオペレーションによる自由度の高いプログラムが作成が可能。必要なコンポーネントを選択することで、用途に応じた最適なサウンドシステムの構築が可能です。

Component List

Ambient Noise Compensator
Auto Gain Control
Combiner (Room Combiner, Room Combiner plus Automixer)
Delay
Dynamics (Compressor, Ducking, Gate, Limiter)
EQ (GEQ, PEQ)
Fader
Feedback Suppressor
Filter (HPF, LPF, BPF)

Meter
Mixer (Dugan Automixer, Matrix Mixer)
Oscillator
Polarity
Router
Source Selector
Speaker Processor
Speech Privacy
Acoustic Echo Canceller *

* V2.1以降のファームウェアで対応。

Ambient Noise Compensator (ANC)



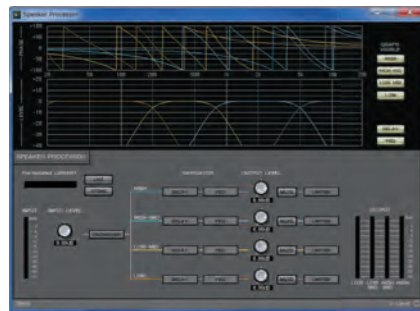
曜日や時間帯、集客状況でアンビエントノイズ（周囲騒音）は大きく変化します。明瞭度の高い拡声・再生を実現するためには、アンビエントノイズに応じたBGMやアナウンスの音量を補正が必要です。ANCはこの作業を自動化し、BGMやアナウンスを適正なレベルに保ちます。

Room Combiner



用途に応じて室を分割、統合して使用する宴会場や、ショッピングセンターのように間仕切りのない空間をゾーニングする用途に最適なコンポーネントです。1つのコンポーネントで最大8つのゾーンをコントロール可能です。

Speaker Processor



最大4wayまで対応可能なCross OverにDelay、6Band-PEQ、Limiterなどを搭載したスピーカー調整用コンポーネント。ユーザーが作成したデータをLibraryに登録しておくことで、任意のスピーカーに最適化した設定を瞬時に呼び出すことも可能です。

Matrix Mixer



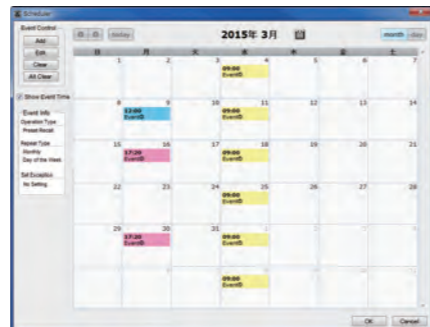
さまざまなマトリクスミキサーのコンポーネントを搭載しており、2x2の小規模のものから、最大で64x64もの大規模なマトリクスミキシングまで幅広く対応します。

Feedback Suppressor



マイクによる拡声の際に発生しがちな不快なフィードバック（ハウリング）を効果的に除去するコンポーネントです。「帯域固定」の7バンド、「自動検出」の7バンド、計14バンドで動作いたします。

Scheduler



あらかじめ設定した時間に任意の機能を実行します。内蔵のSDメモリーカードスロットと組み合わせることで、任意の時間に自動的に音声再生するアプリケーションにも対応します。

Features

会議室や宴会場などで起こりうる様々なお悩みも、MRX7-Dのコンポーネントを用いることで解決することができます。ここではコンポーネントとともにその一例を紹介します。

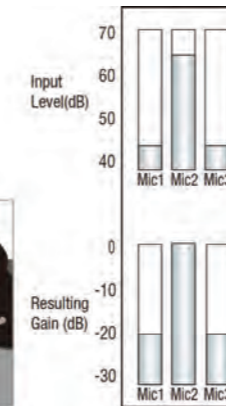
お悩み 複数マイク使用時のハウリングの発生や周囲雑音の回り込みを予防したい。

Dugan Automixer

会議など、複数のマイクを使用する際には、ハウリングの発生や周囲雑音を拾うことにより、音声の明瞭度の低下が問題になります。Dugan Automixerは入力のあるマイクのゲインを自動的に上げ、入力のないゲインを絞ります。また、各入力と全ての入力の和を比較し、トータルのミキサーゲインを一定にするように各入力のゲインを調整します。これにより、ハウリングマージンを一定に保ち、同時に拡声音（S）と周囲雑音（N）のS/N比も飛躍的に向上します。

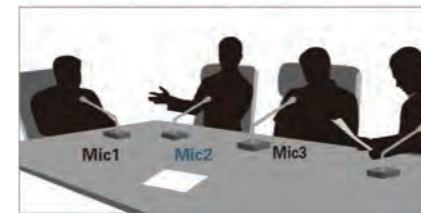
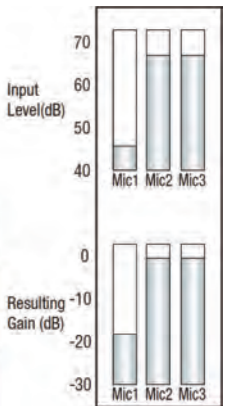
話者が1人の場合

1人が話した場合には、そのマイクのゲインのみ瞬時に0dBまで上がり、他の2本のマイクはゲインが下がります。別の1人が話した場合も同様の動作です。



話者が複数の場合

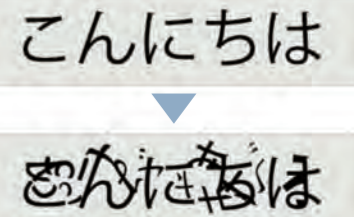
2人が同時に話した場合には、マイク1本の時と同じトータルゲインとなるよう2本のマイクのゲインが自動配分され、残り1本のマイクのゲインは下がります。



お悩み 機密情報を取り扱うため、隣接スペースへの音漏れを防ぎたい。

Speech Privacy

会議室や金融機関、医療施設などで、会話情報の秘匿性を確保する社会的ニーズが高まってきました。スピーチプライバシーは、特殊な音声により、会話情報をマスキングすることにより、このニーズに対応します。大きな音量で会話を書き消すノイズ方式のマスキングではなく、人の声を素材にヤマハが独自開発した「情報マスキング音」を採用し、会話中の音声情報をカモフラージュする手法を取りました。これにより、比較的小さい音量で高い効果を発揮し、空間の快適さを損なうことなく、情報の秘匿性保持を実現します。

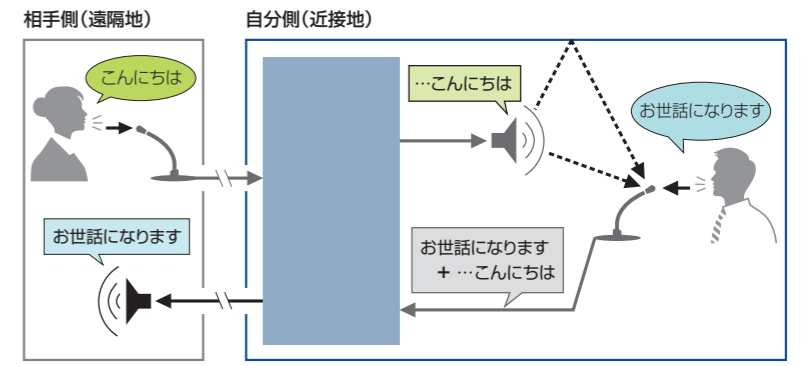


人の声から合成した音で、会話の内容を不明瞭にします。

お悩み 遠隔会議におけるエコーを除去し、音声の明瞭度を高めたい。

Acoustic Echo Canceller

遠隔会議では自室において、スピーカーから出た相手の音声マイクに拾われることにより、遅延を伴った音声が発生した音声とともに相手室へ送り返されます。これにより、相手室の話者には自身の声のエコーが聞こえ、音声の明瞭度が低下することがあります。アコースティックエコーキャンセラーはこのエコーを除去し、音声の明瞭度を高めます。マイクに入力された音声とスピーカーから出力された音声を比較分析し、適応型フィルターを用いてマイクに入力された音声からスピーカーからの音声を減算処理します。これにより、スピーカーの音声マイクにフィードバックされてエコーとして伝送されることを防ぎます。（部屋固有の反射音や残響音を取り除くものではありません。）



※Acoustic Echo Canceller機能はV2.1以降の搭載を予定しております。

③ MTX-MRX Editor によるシンプルかつスピーディな設定

MTX-MRX EditorはMTX/MRXシリーズを中心としたシステムを設計するアプリケーションソフトウェアです。MTX/MRXシリーズに加えて、パワーアンプリファイアXMVシリーズ、インプット/アウトプットエクspanderEXi8/EXo8、デジタルコントロールパネルDCPシリーズの設定を行うことができ、一つのアプリケーションソフトウェアで、マイクの入力から、アンプ、スピーカーの設定までの全てを設計、管理することができる統合ソフトです。



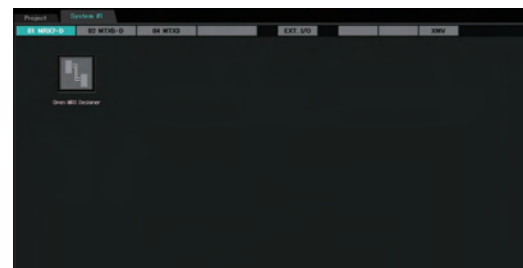
3ステップの簡単設定

① 使用する機器の選択



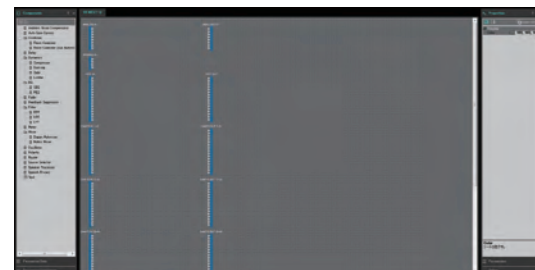
プロジェクト画面より、システム内で使われる各機器をウィザードに従い配置していきます。ここでは、MTX/MRXシリーズの他、パワーアンプリファイアXMVシリーズ、デジタルコントロールパネルDCPシリーズ、エキスパンダーEXi8、EXo8を配置できます。

② 設定する機器の選択

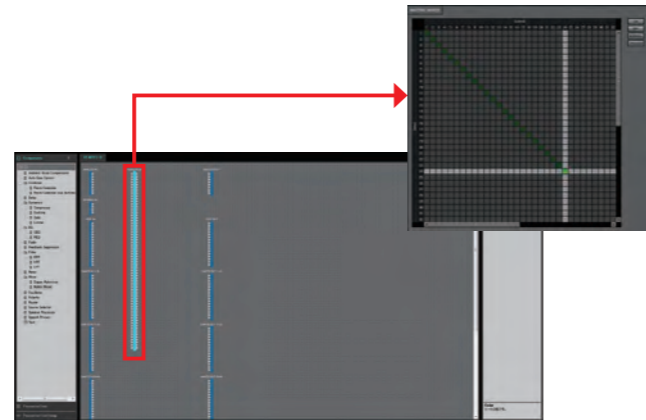


システム画面より機器の設定を実施します。複数台のMTX/MRXシリーズを配置した場合、設定する機器を、タブから選択します。システム画面よりMRX7-Dを選択し、「OpenMRXEditor」をクリックするとMRX Designerが立ち上がります。

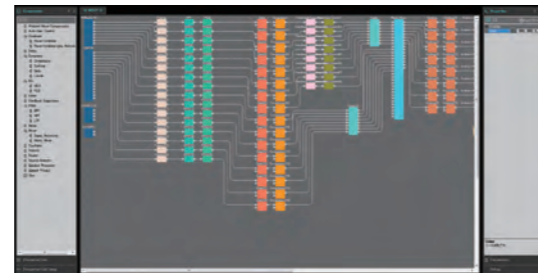
③ 選択した機器のパラメーター設定



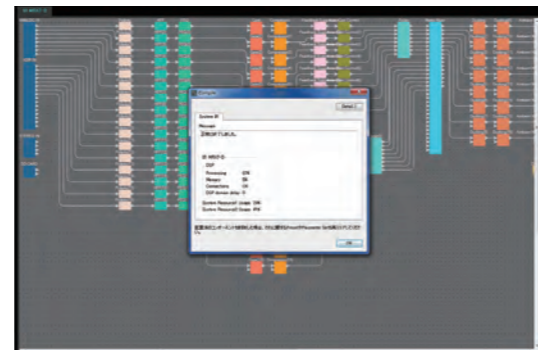
「Components」より必要なコンポーネントをドラッグアンドドロップで画面上に配置します。



設定するコンポーネントを選択し、ダブルクリック、もしくは右クリックから「Open Component Editor」を選択し、パラメーターやパッチを設定します。



コンポーネントの配置、パラメーターの設定が完了した後、「Compile」を実施します。



「Compile」が終了すれば、設定は完了です。

④ 豊富な外部制御が選択可能

ハードウェアオプション

デジタルコントロールパネル

DCP1V4S-US

オープンプライス

- プログラムラブル型、スイッチ×4、ノブ×1



DCP4S-US

オープンプライス

- プログラムラブル型、スイッチ×4



DCP4V4S-US

オープンプライス

- プログラムラブル型、スイッチ×4、ノブ×4



適用表

モデル	コンセントボックス
DCP1V4S-US	中浅型(44Dmm)または中深型(54Dmm)・1連
DCP4S-US	中浅型(44Dmm)または中深型(54Dmm)・1連
DCP4V4S-US	中浅型(44Dmm)または中深型(54Dmm)・3連

DCPシリーズはMTX/MRXシリーズを使った音響システムをコントロールできる壁埋め込み型コントローラーです。簡単に複数ゾーンの音量制御、プリセットの切り替えが可能です。MTX/MRXシリーズとの接続には最大延長200mのEthernetケーブルを使用。デジチェーン配線で最大8台のDCPシリーズが接続可能です。電源もMTX/MRXシリーズからEthernetケーブル経由で供給されるため、電源確保を心配することなく自由度の高い配置が可能です。

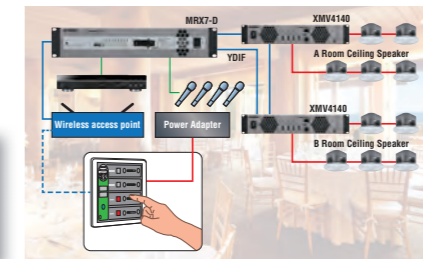
ソフトウェアアプリケーション

ProVisionaire Touch ※ App Storeから無償ダウンロード可能です。

ProVisionaire TouchはMTX/MRXシリーズをリモートコントロールするアプリケーションです。それぞれのユーザーに分かりやすい操作画面を作成することが可能で、音量やプリセットの制御を直感的に行うことができます。

- 対応機種：Apple社iPad（初代iPadを除く）およびiPad mini・OS:iOS 8.3以上

Available on the App Store ※iPadは米国及びその他の国々で登録された Apple Inc.の登録商標です。 ※ProVisionaire TouchはApp Storeから無償でダウンロードできます。



	Screen Lock	Operate/Set	Edit/Adjust
System Administrator	✓	✓	✓
Owner/Staff	✓	✓	
Guest User	✓		

●用途に応じたカスタマイズが可能

スイッチやフェーダーなどをページ上に配置することで、オリジナルのコントローラーが作成できます。これにより、ユーザーや設備の用途に応じた最適なカスタマイズが可能です。

●システム全体をコントロール可能

MRX7-Dはもちろん、YDIFやDanteで接続したパワーアンプリファイアXMVのミュートのオンオフも可能。入力から出力まで、システム全体の管理も容易です。

●ユーザーアクセスレベルの設定

最大3種類のパスワードが設定できますので、使用者に応じたアクセスレベルの設定ができます。これにより、誤作動や設定の変更を防ぎ、安全な運用に貢献します。



Wireless DCP ※ App Store、Google Playから無償ダウンロード可能です。

Wireless DCPはMTX/MRXシリーズをiPadやAndroidなどのスマートデバイスからリモートコントロールするアプリケーションです。Wireless DCPを使用すればMTX/MRXシリーズの音量やプリセットの制御、SDプレーヤーの再生などがシンプルかつ直観的な操作で行うことができます。

- 対応機種：Apple社iPhone/iPad、OS:iOS 5.1.1以上

デバイス：iPad / iPad mini / iPad Air / iPod touch (第3世代以降)*

- 対応機種：アンドロイド機器**、OS: Android OS 4.2以上

動作確認済みデバイス：Nexus 4 (V4.2.2), Nexus 5 (V4.4), Nexus 7 (2012) (V4.2.2), Nexus 7 (2012) (V4.2.2), Nexus 7 (2013) (V4.3), Nexus 10 (V4.3)***

Available on the App Store *iPhone, iPod touch, iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadはApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

ANDROID APP ON Google play **Google Playロゴおよび、AndroidロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。 ***Nexusは、Google Inc.の商標です。

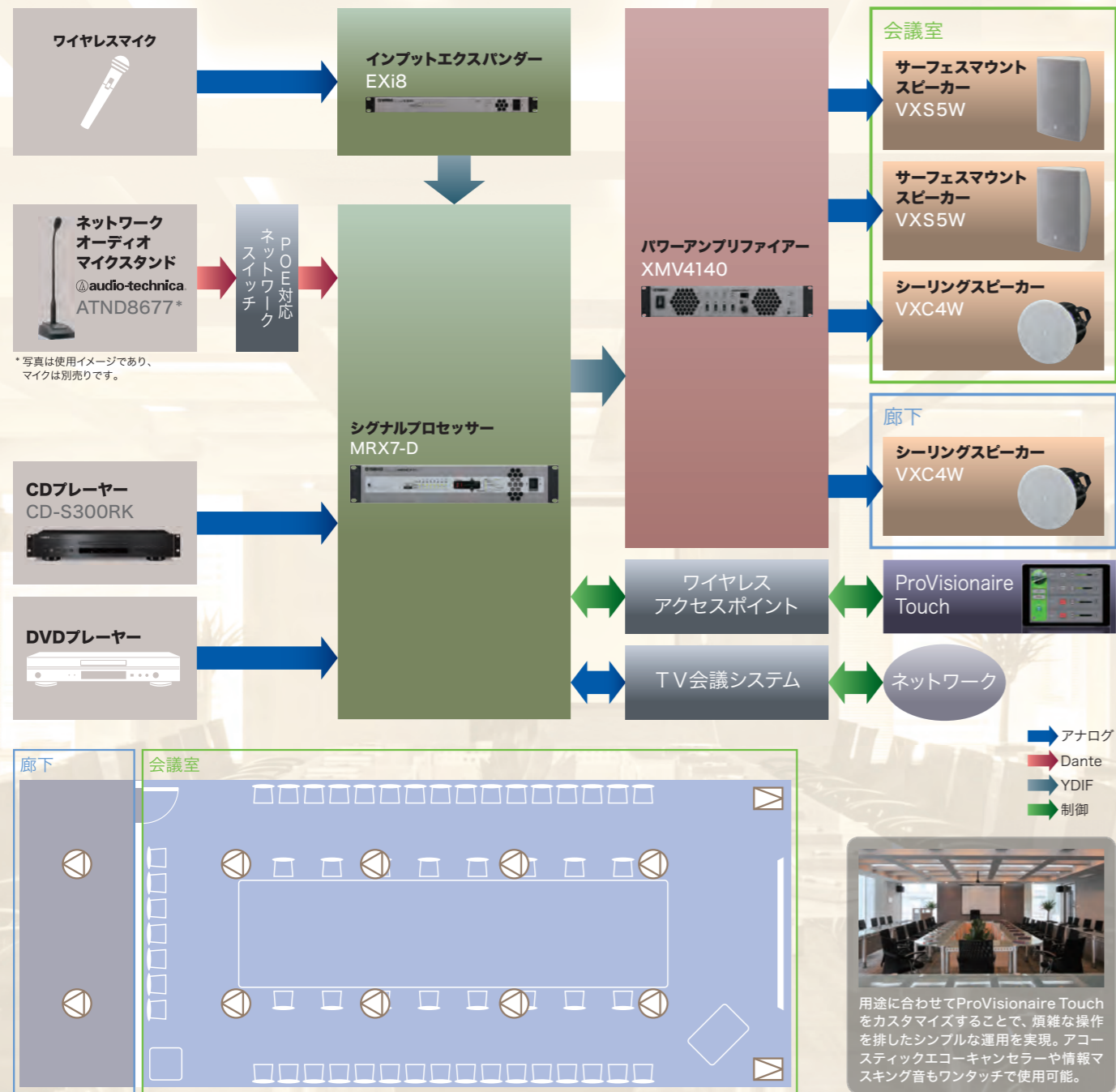
RS232C、GPIを使用したリモートコントロール

RS232CやGPIを用いることで、AMXやCrestronなどのタッチパネル機器や、汎用インターフェースからMRX7-Dのコントロールが可能です。



システム例：会議室

煩雑な操作を必要とせず遠隔会議での音声明瞭度を確保。同時に機密情報の保持も実現する先進的な会議システム。



システム詳細

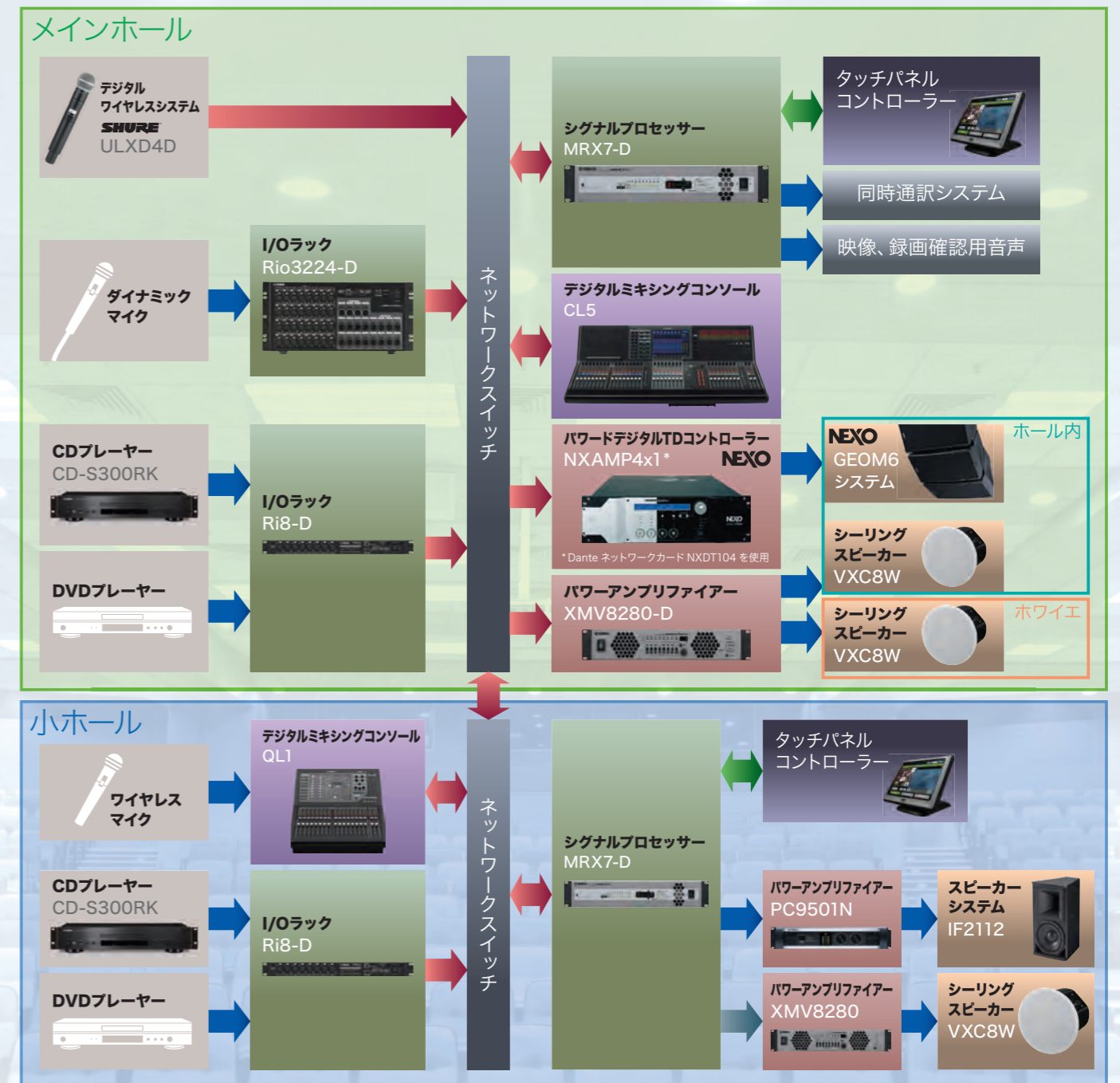
- 「Dugan Automixer」により、煩雑な操作をすることなく、ハウリングの抑制や周囲雑音の回り込みを軽減
- アコースティックエコーキャンセラーが遠隔会議においても高い音声明瞭度を実現
- 会議中に室外へ「情報マスキング音」を流すことにより、機密情報漏洩のリスクを軽減
- デジタルオーディオ伝送Dante、YDIF活用による配線の簡略化
- ProVisionaire Touch活用による入出力の一元管理

おすすめコンポーネント

- Dugan Automixer
- Speech Privacy
- Acoustic Echo Canceller

アプリケーション例：カンファレンスセンター

ホール間をDanteで結び、用途に応じたフレキシブルな運用を実現したシステム。



システム詳細

- Danteを活用することにより、ホール間での音声のやり取りも容易
- デジタルオーディオ伝送Dante、YDIF活用による配線の簡略化
- Room Combinerの活用により、仕切りを変えるなどホールの運用を柔軟化
- Speaker Processorによりきめ細やかなスピーカー調整が可能
- タッチパネルコントローラーによる柔軟なシステム運用

おすすめコンポーネント

- Matrix Mixer
- Room Combiner
- Speaker Processor

- アナログ
- Dante
- YDIF
- 制御